

未来を担う子どもたちが財政を考える！

財政教育 プログラム



難しそうに見える日本の財政に興味を持つきっかけとなる授業です。



プログラムの特徴

！ アクティブ・ラーニングの導入

日本の将来について考えることをテーマとしたグループワークを取り入れています。自身の描く未来やその実現に向けた課題、課題解決のための手段など、子どもたちが意見を出し合いながら議論を行うことにより、主体的・対話的で深い学びを促します。

！ 財務省・財務局職員との交流

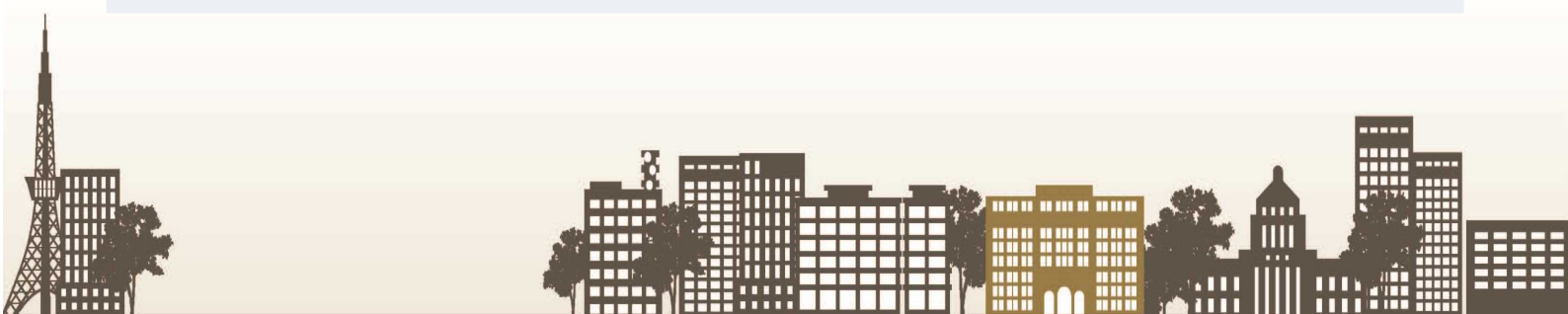
当日は、講師役に加え、グループワークの補助を務めるアドバイザーを派遣します。アドバイザーは、子どもたちからの質問に答え、時には意見を引き出す疑問を投げかけるなど、活発な議論の手助けを行い、子どもたちとの積極的な交流を図ります。

！ タブレット端末等ICT機器の利用

グループワークに、タブレット端末等のICT機器を利用することもできます。使用する予算編成シミュレーションツールは、各予算項目を増減させるとグラフが変化する仕組みとなっており、視覚的に楽しみながら取り組むことができます。

！ 学校と財務省との協働（指導案作成、事前学習等）

指導案作成の段階から先生方と職員で綿密に連携し、学校と財務省・財務局が協働しながら1つのプログラムを作り上げていきます。プログラムの内容は、先生方の要望などに応じて、様々な形にカスタマイズすることも可能です。



授業を通じて、子どもたちの意識も高まっています。



プログラムの効果

- ！ 日本の財政に興味を持つことができる。
- ！ 社会問題を自分事として捉えることができるようになる。
- ！ 受益と負担の両面性（トレード・オフ）の理解を深め、多面的な見方を可能にする。
- ！ 多様な意見を集約するには、民主主義的過程が重要であると認識できる。

小学生

2. 日本を良くしていくために、予算について今後どうすればいいと思いますか。

日本の今の課題と日本の未来というのをうまくかけあわせて、考えることが大事にと思いました。歳入と歳出のバランスをうまく考えて、何を増やせばいいのか、そして、何を減らせばいいのかというのを、理由も考えた上で判断しないといけないと思いました。

3. この授業で、勉強になったことはどんなことですか。

話を聞くだけでは分からない予算の組み立てなども、実際にみんなとやることで、分かりやすくなりました。特に私はいろんな法などの「税」をおおりにしてなかったけど、今日のお話を聞いて、気にかけるようになった。

4. 授業の中で、難しかったことはどんなことですか。

予算を考える時に、「一つをこうしたら、メリットもあるけど、デメリットもあるのくり返しで、とっても難しかったです。



プログラムの基本構成

職員の講義



職員が財政に関する講義を行います。子どもたちに身近な「公共サービス」や「公共施設」を入口にして、クイズを取り入れながら説明します。

クイズ

(身近な公共サービスに関して: 救急車)

救急車を一回呼ぶのに
実際かかっている費用は? (日本で)

- ① 10,000 円 ② 20,000 円
- ③ 30,000 円 ④ 40,000 円

30min



グループワーク



各グループでタブレット端末等を使用し、子どもたち同士で意見を出し合い、予算案を編成してもらいます。

ワーク中は、アドバイザー役の職員が質問対応やアドバイスをを行います。



30min



発表



各グループごとに予算案を発表してもらいます。
発表後には他グループからの質問時間を設けており、発表グループは財務大臣になったつもりで答弁を行います。
授業中で最も盛り上がるパートです。

25min





しめくくり



職員による講評を行った後、
最後は参政権について触れ、
将来の主権者の一員としての
自覚を促します。

4



5min



※ 2時限を使う場合の一例

プログラムの前後

アンケート・事前学習



子どもたちの理解を深めるため、クイズ形式でのアンケートを講義の前と後
お願いしています。

学校によっては、課外授業である財政教育プログラムの効果をたかめるために、
事前授業をされる場合があります、ご希望される場合には、お勧めのパンフレット
をお渡ししています。



財務大臣になって予算を作ろう！

子どもたちが財務大臣になって、日本の未来を考えるシミュレーション。
日本をどんな国にしたいか考えながら、グループで予算案を作ってもらいます。

使用教材

個人・グループワークシート

財政教育プログラム

【グループ ワークシート】

(組 班 メンバーの名前: _____)

私たちは、日本を（ ）な国にしたいから
予算をこんな感じにします！

	今の予算	私たちの 予算	そうした理由
病氣やケガを治す お金	1 2兆円	兆円	
お年寄りや障がい者 の生活を支えるお金	1 6兆円	兆円	
生活が苦しい人や 子育てを支えるお金	8兆円	兆円	
地方に暮らす人の 生活を支えるお金	1 6兆円	兆円	
道路・橋の整備や 災害を防ぐお金	6兆円	兆円	
国を守るお金	5兆円	兆円	
みんなの勉強や 科学の発展のための お金	5兆円	兆円	

「特別なお金」 を使ったグループは、ここも書いてください

いくら使ったか	そのお金はどこから集める？（借金する？それとも、税金で集める？）
兆円	

「使わないお金」ができたグループは、ここも書いてください

いくら使ったか	そのお金はどうする？（借金をへらす？それとも、税金をへらす？）
兆円	



発表するグループは、**財務大臣** になったつもりで、
みんなにアピールしよう！



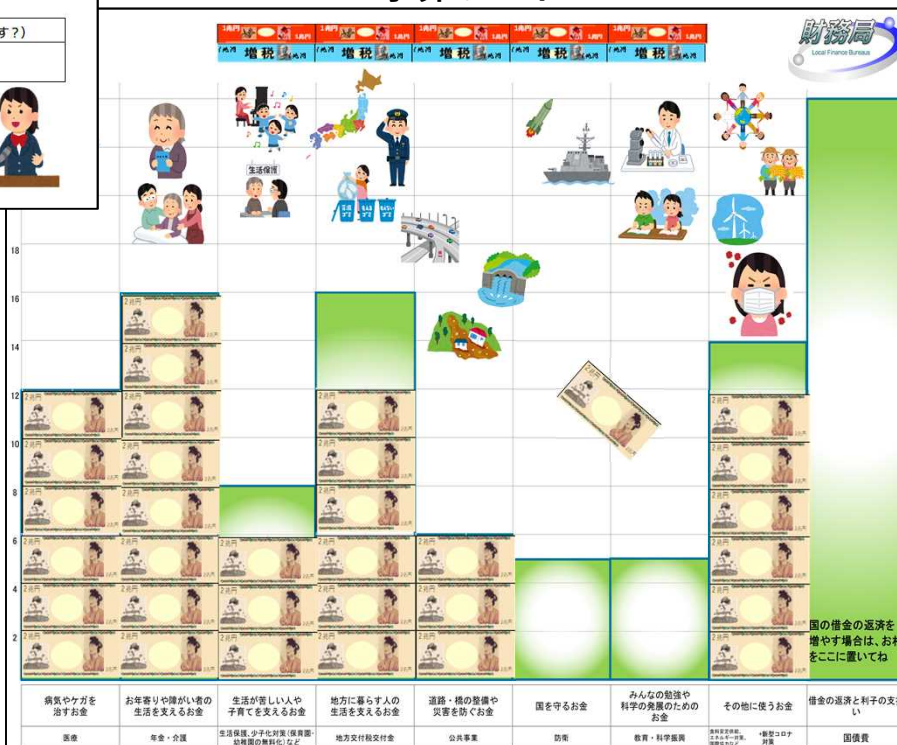
個人ワークで各自が考えた国の予算を持ち寄り、みんなで話し合いをしながら、お札に似せたマグネット等を予算ボード上で動かし、ボードゲーム感覚で視覚的に確認しつつ、グループワークシートに意見を集約していきます。

お札に似せたマグネット



- ・  : 国債のイメージ
- ・  : 増税のイメージ

予算ボード



- ・ 緑の枠線：現在の予算額
- ・ 直観的に理解できるよう
ビジュアルを工夫

グループワークの内容

1. 予算案のテーマを決定

未来の日本をどのような社会にしたいかを話し合い、予算案のテーマを決定します。
(テーマ例：高齢者に優しい社会、誰もが充実した教育を無償で受けられる社会 etc)

2. 国の予算案を編成

決定したテーマに沿って、歳出の項目をどのように増減させるか、議論を行いながら、予算ボードに反映していきます。

予算の増減を検討する項目

▶ 歳 出

- ・ 社会保障
- ・ 公共事業
- ・ 教 育
- ・ 地方への交付金
- ・ 防 衛
- ・ その他（科学技術など）

その項目を増減させる理由まで考えながら、グループワークシートに書き込んでいきます。

	今の予算	私たちの 予算	そうした理由
病気やケガを治す お金	12兆円	兆円	
お年寄りや障がい者の 生活を支えるお金	16兆円	兆円	
生活が苦しい人や 子育てを支えるお金	8兆円	兆円	

(グループワークシート抜粋)

POINT

グループ内の議論を通じて、
受益と負担の両面性（トレード・オフ）の理解を深めてもらいます。
また、多様な意見を集約することの難しさを実感してもらい、
民主主義の過程が重要であることを認識してもらいます。

3. 予算案の発表

各グループから予算案とアピールポイントを発表してもらいます。発表後には
質問時間を設け、発表者グループと他の子どもたちによる質疑応答を行います。

POINT

質疑応答を通じて、予算案に反対意見や疑問を持った人たちに
納得してもらえるように説明することの難しさや、
多面的な見方が重要であることを感じてもらいます。

中学生

2. 日本を良くしていくために、予算について今後どうすればいいと思いますか。

今の日本のことを考えるだけでなく
未来につながる予算を考えることで
明るく日本が待っているかなーと思います。

3. この授業で、勉強になったことはどんなことですか。

私たちにとっての理想と、大人や老人の人の理想は
全然違って、それを全て叶えるような予算はつ
くのが難しいということ。

4. 授業の中で、難しかったことはどんなことですか。

数字はいくらでも変えられるけど現実的に成功できるような財
政を考えるのが難しかった。金額だけではなく国民が納得できる
ような理由を考えるのがむずかしかった。

高校生

2. この授業で、あなたは何を学び、どのような力が身についたと感じ考えますか？（具体的に記述する）

この授業を受けてから、ニュースを見るのが楽しくなった。授業での議論や目標を
達成するための方法を考えたことがとても楽しくて、今までは、めんどくさいと思っ
ていた、いろいろな社会問題に対して、こんなことをしたら、解決できるんじゃないだろう
かと、プラスの方向に考えるようになった。自分が今までもってなかった新し
い考え方を得ることができたのではないかと感じている。

2. この授業で、あなたは何を学び、どのような力が身についたと感じ考えますか？（具体的に記述する）

この授業を受ける前は、社会情勢を知らず、今の国で何が起きているのか、わたし
たちが納めたお金はどのように使われているのかなど、理解していなかった。おそらく
私のような人は学生に限らず、みんなだと思うのだが、それは国にとって非常に危険な
状況である。この授業では、予算を組むにあたって社会情勢を理解するのが必
須である。この授業がなければ、おそらくこれから先も知らずして過ごしてあろう
。「今何かが起きているのか」「私たちの納めたお金のゆくえ」などを学ばない機会
となつた。また、これから先有権者となり私たちの代表を選ぶ際、目や雰囲気
に頼らず、きちんと考える力が身についたと感じる。私のような若者にとって、これは非常に大きな一
歩なのでないだろうか。「社会情勢」を知り、実際どのように予算が組み立てられてい
るのか、非常に基本的であるが最も大切なことを、この授業で学ぶことができた。

校種別実績

※中等教育学校については、学年に応じて「中」「高」に計上

	全校種計				国立大附属校				公立校				私立校			
		小	中	高		小	中	高		小	中	高		小	中	高
2020 年度	91	31	42	18	27	14	12	1	50	16	21	13	14	1	9	4
2021 年度	140	45	57	38	30	13	14	3	91	28	34	29	19	4	9	6
計	231	76	99	56	57	27	26	4	141	44	55	42	33	5	18	10

先生方の感想

意外と質問、反論が多く、こんなに子どもたちが発言するとは思っていなかった。

嬉しい誤算。

(小学校教諭)

ただの紙でやっていただけではうまくシミュレーションできないと思うので、**タブレットはツールとして非常に有効**であったと思う。

(小学校教諭)

職員が回ってアドバイスなどのサポートをしてくれたおかげで、普段は消極的な生徒も意欲的に個人ワークに取り組んでいたし、グループワークでは活発に話ができていた。

(中学校教諭)

将来の進路

として、大学の法文学部や経済学部を志望する生徒も多く、昨年のプログラム実施後、財政に興味を持ちキャリア(職業)研究する生徒も現れた。

(高校教諭)

「財政」未学習の2年生における**主権者教育**の位置づけとして十分な教育的効果があった。

(中学校教諭)

生徒のグループワークについて、我々も**こういう授業がしたい**と考えており、本当に参考になった。ICTの環境がなくてもこのような話し合いができるように対応していきたいと思った。

(高校教諭)

財政や予算のように**答えのないシミュレーション**は、今の子どもたちにとってすごく大事なことだと思う。

(小学校教諭)

使用したシミュレーションツールは、グラフが即時に反映され、生徒たちに**視覚的にわかりやすく**作られていて感心した。

(中学校教諭)

生徒たちは来年度から選挙権を持つ者も出てくるので、**自分達の1票**は大切なのだということを前もって知ることができて勉強になったと思う。

本プログラムには、先生のみで実施できる動画教材もございます。
ご相談はこちらまで。お気軽にお問い合わせください。

財務省 中国財務局 財務広報相談室

TEL : 082-223-3037 [月～金 9:00-17:45]

Mail: TGZKOUHOUKANOP@tg.lfb-mof.go.jp

※ lfbはアルファベット小文字のエル・エフ・ビー

○詳しくは以下のQRコードリンク先(Youtube)からもご覧いただけます

①授業構成について

②授業のデモンストレーション

